



Messages from the Heart: Poems and Letters

想
い
を
伝
え
る
も
の

2026年
4月16日(木) — 5月24日(日)

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日: 月曜日 ※ただし、5月4日(祝)は開館し、5月7日(木)が休館
入館料: 一般 630円 / 高校・大学生 420円 / 小学・中学生 無料
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料
※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

大和文華館
—— 奈良・学園前 ——

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN | NARA · GAKUENMAE

手 和
紙 歌、

国宝 婦女迎送圖屏風(左隻)部分 江戸時代前期 「晋宮」小倉色紙(天の原)鎌倉時代

和歌、手紙



本展では大和文華館所蔵品の中から、古より想いを伝える手段として用いられてきた和歌と手紙に関連する作品を集めて展覧します。古人のしるした書跡や歌物語を描いた絵画、そして歌人の姿を描いた歌仙図など、和歌と美術は深く結びつき、ともに愛されてきました。また、古人の書簡も、したためた人物の個性があらわれたものとして珍重されてきました。書簡の中には体調や心情を綴った内容も時折見られ、古人の生きた日常が垣間見える面白さがあります。そして、平戸藩松浦家に伝来したことから「松浦屏風」の愛称でも親しまれている国宝「婦女遊楽図屏風」には、手紙をしたためている様子の女性が描かれています。それだけではなく、手紙を受け取ったり読んだりしている女性も描かれており、「松浦屏風」において手紙が重要なモチーフであったことがうかがえます。人びとが想いを託してきた和歌と手紙の様相を美術品から見ていく展覧会です。

The folding screens *Women Engaged in Various Amusements* depict courtesans receiving, reading, and writing love letters. This exhibition examines poems and letters, which people have used to convey their feelings since ancient times, as depicted in artwork.

●特別講演

「古筆をもっと楽しむために」

5月3日(日)午後2時・講堂

根津美術館 顧問 松原茂氏

[定員]当日先着100名(予約不要)

●日曜美術講座

「遊女と手紙—文書く女の姿」

5月17日(日)午後2時・講堂

当館学芸員 仁方越洪輝

[定員]当日先着100名(予約不要)

●講座 美術の窓

連続講座「江戸後期の浮世絵」
第1回「歌川豊国」

4月19日(日)午後2時・講堂

当館館長 浅野秀剛

[定員]当日先着100名(予約不要)

●列品解説

毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による

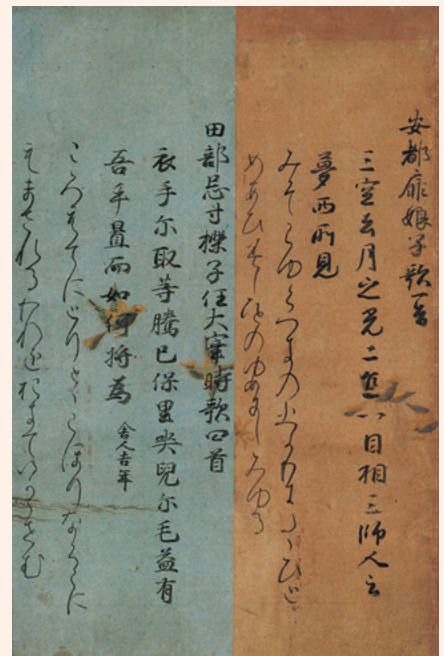
●無料招待デー 5月8日(金)



漆絵美人図 中西松山筆 江戸時代後期



東山第一樓勝会図画帖(文を書く女) 山口素絢筆 江戸時代後期



桂木万葉集断簡(梅尾切) 平安時代中期



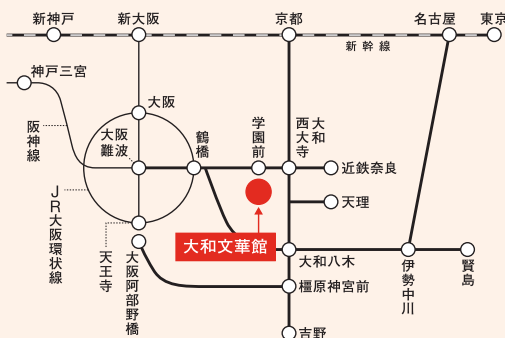
伊勢集断簡(石山切) 平安時代後期



新古今集和歌色紙(難波の歌) 本阿弥光悦筆 桃山時代



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館

奈良・学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>

@yamatobunkakan

